

令和3年度 江別市まち・ひと・しごと創生総合戦略事業（地方創生推進交付金）一覧

事業名		申請形態	交付決定額（円）	実績額（円）	江別市まち・ひと・しごと創生総合戦略の位置付け
①	学生お試し移住・定住推進プロジェクト 【継続事業：2年目】	広域	1,628,000 (江別市分)	1,474,923	基本目標① しごとをつくり安心して働けるようにする、これを支える人材を育て活かす 基本目標② えべつへの新しい人の流れをつくる
②	観光振興計画推進事業 【継続事業：3年目】	単独	4,683,000	4,143,872	基本目標① しごとをつくり安心して働けるようにする、これを支える人材を育て活かす
③	えべつ食のブランド海外展開促進事業 【継続事業：2年目】	単独	2,930,000	2,548,250	基本目標① しごとをつくり安心して働けるようにする、これを支える人材を育て活かす
④	若者「えべつ愛」育成プロジェクト～「関係人口」の創出・拡大を目指して～ 【継続事業：2年目】	単独	5,020,000	4,941,925	基本目標② えべつへの新しい人の流れをつくる
⑤	江別市就労支援プログラム事業(江別まちなか仕事プラザ事業～女性と高齢者等の就労支援～)(介護人材養成支援事業) 【継続事業：2年目】	単独	17,569,000	17,428,561	基本目標③ 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる、誰もが活躍できる地域社会をつくる
⑥	江別版生涯活躍のまち推進事業 【継続事業：3年目】	単独	4,957,000	4,422,691	基本目標④ 時代に合った地域をつくり、安心なくらしと健康を守るとともに、地域と地域を連携する
合 計		-	36,787,000	34,960,222	-

令和3年度 江別市まち・ひと・しごと創生総合戦略事業（地方創生拠点整備交付金）一覧

事業名		交付決定額（円）	実績額（円）	江別市まち・ひと・しごと創生総合戦略の位置付け
①	登録有形文化財北海道林木育種場旧庁舎のリノベーションによる企業誘致拠点施設整備事業 【新規事業：単年度事業】	41,250,000	39,534,000	基本目標① しごとをつくり安心して働けるようにする、これを支える人材を育て活かす

令和3年度 江別市まち・ひと・しごと創生総合戦略事業（地方創生推進交付金）実績

学生お試し移住・定住推進プロジェクト 【継続事業：2年目】	交付決定額（円）	実績額（円）	事業KPI	事業開始前 （申請時）	重要業績評価指標 （KPI） 令和2年度実績値	重要業績評価指標 （KPI） 令和3年度実績値	重要業績評価指標 （KPI） 令和4年度実績値	令和4年度 目標値	実績値を踏まえた 令和4年度の取組方針について
令和3年度事業内容等									
<p>令和2年当初から続く新型コロナウイルス感染症の影響により、当市も含めた連携自治体内でのイベントの中止、大学の課外活動の制限により、プログラムの中止や実施ができない中であっても、感染状況を見ながら、感染拡大防止に留意し、実施時間などを工夫して、いくつかのプログラムを実施することができた。</p> <p>また、起業を志す学生を対象としたセミナーはオンライン開催に振り替えて実施することができた。</p> <p>（連携自治体） 芦別市、赤平市、三笠市、南幌町、由仁町、長沼町、栗山町</p>	1,628,000	1,474,923	プログラムに参加した学生で連携自治体に、就職や定住した人数	8人	【令和2年度】 4人 【累計】 12人	【令和3年度】 1人 【累計】 13人	-	33人 【累計】	<p>3年目となる令和4年度は、引き続き、移住体験型インターンシップを連携8自治体全てで本格実施する。受入れ企業の見学会を積極的に開催し、学生と受入企業のマッチングとなる機会を多く設ける。</p> <p>また、大学と連携し、大学内でのオンライン企業説明会を実施し、地域企業と学生の接点を広く作り出す。起業を志す学生に対してはセミナーを実施し、学生起業家支援を開始する。</p> <p>これらに加え、これまでの実績を基に企業等へのPR機会を増やし、負担金を増額し、次年度から自立化を図る。</p>
			地域企業訪問説明会プログラム受け入れ企業数	0社	【令和2年度】 10社 【累計】 10社	【令和3年度】 11社 【累計】 21社	-	30社 【累計】	
			移住体験型インターンシップ等への参加人数	0人	【令和2年度】 0人 【累計】 0人	【令和3年度】 5人 【累計】 5人	-	45人 【累計】	
			プログラムに参加した学生で起業した件数	1件	【令和2年度】 0件 【累計】 1件	【令和3年度】 0件 【累計】 1件	-	3件 【累計】	

観光振興計画推進事業 【継続事業：3年目】	交付決定額（円）	実績額（円）	事業KPI	事業開始前 （申請時）	重要業績評価指標 （KPI） 令和元年度実績値	重要業績評価指標 （KPI） 令和2年度実績値	重要業績評価指標 （KPI） 令和3年度実績値	令和3年度 目標値	達成度	事業全体の評価
令和3年度事業内容等										
<p>令和3年度においてもコロナ禍の影響が見通せない中ではあったが、今後のアフターコロナでの観光入込客数等の増加を目的として、観光推進体制の強化を図った。</p> <p>具体的には、観光推進体制の中心的団体となる観光協会の法人化に取り組むとともに、その過程で事業者等を巻き込んだワークショップの実施によって行政・事業者・市民が主体的に観光に関わっていく土壌づくりを行った。</p> <p>また、ウィズコロナでも実施可能な市内周遊策として、観光用レンタサイクル事業を試行するとともに、既存の市内周遊事業のリニューアルを図った。産業連携新商品開発についても事業者への丁寧なヒアリングを行い商品化を進めた。</p>	4,683,000	4,143,872	観光入込客数	915,337人	【令和元年度】 1,190,090人 （前年比） 274,753人	【令和2年度】 1,361,201人 （前年比） 171,111人	【令和3年度】 1,216,970人 （前年比） ▲144,231人	996,337人	達成	<p>本事業は、江別市における観光振興の指針である「観光振興計画」の実現を目指して実施したものであり、本計画で目指していた事項について、以下のとおり評価する。</p> <p>①観光推進体制の構築 令和3年10月に一般社団法人えべつ観光協会が発足し、観光振興を担う民間団体が誕生した。今後、本協会が江別市の観光資源の発掘・開発を担うとともに、発信力を強化することで、江別市の観光振興が発展していくものと考えている。</p> <p>②観光入込客数及びグリーンツーリズム関連施設の利用者数 令和2年当初から続く新型コロナウイルス感染症の影響があったものの、観光入込客数、グリーンツーリズムのKPIを概ね達成することができた。今後はウィズコロナの中においても、観光入込客数、施設利用者数を増やしていくためにPR動画での周知や実施可能な市内周遊事業が必要と考えている。</p> <p>③産業連携新商品開発支援数 商品化に至らなかったものもあるが、産業連携による、地元農産物を活用した江別市ならではの新商品開発を支援したことにより、今後の商品化への一助となったものと考えている。</p>
			グリーンツーリズム関連施設の利用者数	580,762人	596,862人	545,905人	615,351人	691,762人	概ね達成	
			産業連携新商品開発支援数	0件	【令和元年度】 2件 【累計】 2件	【令和2年度】 0件 【累計】 2件	【令和3年度】 2件 【累計】 4件	3件	達成	

えべつ食のブランド海外展開促進事業 【継続事業：2年目】	交付決定額（円）	実績額（円）	事業KPI	事業開始前 （申請時）	重要業績評価指標 （KPI） 令和2年度実績値	重要業績評価指標 （KPI） 令和3年度実績値	重要業績評価指標 （KPI） 令和4年度実績値	令和4年度 目標値	実績値を踏まえた 令和4年度の取組方針について
令和3年度事業内容等									
世界的な新型コロナウイルス感染拡大による影響により、輸出先国の大幅な需要減や渡航ができないことによる商談機会が逸失し、食品の輸出額が大幅減となった。 令和3年度においても厳しい状況が続いたが、渡航によるフェアや商談ができない代わりに、市内企業には複数回のフェア参加や複数国・地域のバイヤーとのオンライン商談会の機会を提供するなど、創意工夫により事業目的を果たすよう取り組んだ。 特に、新たに海外フェアや商談会に参加する企業の掘り起こしに一層の力を入れ、コロナ後に大きな成果が出るよう、輸出に取り組む市内企業の裾野拡大を図った。	2,930,000	2,548,250	食品の輸出額 海外フェア・海外バイヤー招聘事業の参加企業等数 ワークショップ（招聘した海外バイヤーの意見を参考にした）の参加企業等数	2.5億円 4社 0社	【令和2年度】 1.4億円 【累計】 3.9億円	【令和3年度】 2.2億円 【累計】 6.1億円	- - -	3.0億円 【累計】 12社 【累計】 15社 【累計】	3年目となる令和4年度は、2年間での取組をより発展させるため、企業の海外販路開拓等に要する費用の一部を支援するなど市内企業の自立に向けた取り組みをサポートする。 海外のバイヤー等を招聘する事業は、これまでの商談会に加えて、商品が誕生するに至った背景や製造過程をしっかりとストーリー性を持って伝えることを目的とした農場や製造工場への視察も行うことで、商品の付加価値を高める。 さらに、2年目に制作したPR動画を日本産品に関心のある外国人が数多く立ち寄る場で放映するなど、プロモーションを実施し、江別市への誘客・商品の販売促進につなげる。

若者「えべつ愛」育成プロジェクト～「関係人口」の創出・拡大を目指して～ 【継続事業：2年目】	交付決定額（円）	実績額（円）	事業KPI	事業開始前 （申請時）	重要業績評価指標 （KPI） 令和2年度実績値	重要業績評価指標 （KPI） 令和3年度実績値	重要業績評価指標 （KPI） 令和4年度実績値	令和4年度 目標値	実績値を踏まえた 令和4年度の取組方針について
令和3年度事業内容等									
江別市の関係人口を増やす取組であることから、まずは本事業を認知してもらうことが重要である。そのため、大学生に本事業を知ってもらうことを目的に、大学構内で対面によるPR活動を実施した。 また、令和3年度は、新たな取組として、路線バスを活用したバスツアーを開催したほか、その様子を動画撮影し、YouTubeで公開した。 令和2年度から大学構内に設置しているPRブースに、新たにデジタルサイネージ（電子看板）を設置し、本市の観光動画等の放映を行った。	5,020,000	4,941,925	市内大学卒業生（えべつファン登録者）のうち江別市で地域活動や副業兼業を行った人数 在学中の市内大学生のえべつファン登録者数（交付対象事業でターゲットとする関係人口） 地域交流会、江別認知度向上バスツアー、東京江別会（市内大学卒業生）参加者数 大学内江別PRブースでの情報発信点数	0人 0人 0人 0点	【令和2年度】 0人 【累計】 0人	【令和3年度】 46人 【累計】 46人	- - -	150人 【累計】 900人 【累計】 150人 【累計】 500点 【累計】	3年目となる令和4年度は、事業の自立化に向けた準備の年と位置付け、2年目の取組を引き続き発展的に実施しながら、取組の質を向上させ関係人口の拡大を図る。次年度以降の自立化に向け、スポンサー企業を開拓し、当該企業からの資金調達の仕組みの構築により、事業費確保を目指す。 また、PRチラシの作成や交流会、バスツアーの企画運営に学生を巻き込む仕組みを整備し、学生が主体性を持って自主的に取り組む領域の拡大を図るとともに、大学生が地域課題について考え、実行する取組を実施する。

江別市就労支援プログラム事業(江別まちなか仕事プラザ事業～女性と高齢者等の就労支援～)(介護人材養成支援事業) 【継続事業：2年目】	交付決定額(円)	実績額(円)	事業KPI	事業開始前(申請時)	重要業績評価指標(KPI) 令和2年度実績値	重要業績評価指標(KPI) 令和3年度実績値	重要業績評価指標(KPI) 令和4年度実績値	令和4年度目標値	実績値を踏まえた 令和4年度の取組方針について
令和3年度事業内容等									
事業は堅調に推移しているため、引き続き、市内企業の利用率の向上を図るとともに、女性やシニア層を中心に、就職に向けた研修や相談等を繰り返すことにより、参加者を増やし、より多くの人を市内企業へ定着するよう取り組む。 介護分野においては、令和2年度は、事業対象とする定員を上回る介護人材を発掘し、入門的研修及び短期雇用による研修受講や職場実習などの人材養成を行い、介護事業所とのマッチングによる就労支援を実施したが、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、市内介護事業所に就職したのは2人という結果であったことから、令和3年度は、就職に至らなかった者への支援を継続するとともに、前年度の定員を増員した人材養成を実施し、より多くの介護事業所に介護人材を供給するとともに、介護事業者には人材養成の意識をより一層高めた結果、就職者数は、大幅に増加した。	17,569,000	17,428,561	就業できた人数 (ハローワークやシルバー人材センターなどへ繋ぎ最終的に市内に就業する機会を得た人及び本事業により市内介護事業所に就職した人数)	45人	【令和2年度】 159人 【累計】 159人	【令和3年度】 135人 【累計】 294人	-	103人 【累計】	令和4年度は、市内企業の活用をより活性化させるため、子育てを応援している企業のイメージアップを図るチラシを作成するなど、市内企業の認知度を高める。また、季節労働者協議会等他機関とも連携し、他の自治体を含めた広域的な連携も行うなど、施設利用のモデルを確立し、自立性を高め、人材確保の定着を目指すとともに、4年目以降の自立化に向けて体制を構築する。 介護分野においては、令和3年度は、事業対象とする定員を上回る介護人材を発掘し、入門的研修及び短期雇用による研修受講や職場実習などの人材養成を行い、介護事業所とのマッチングによる就労支援を実施した。 令和4年度は、就職に至らなかった者への支援を継続するとともに、前年度の定員を増員した人材養成を実施し、より多くの介護事業所に介護人材を供給するとともに、介護事業者には人材養成の意識をより一層高めてもらう。
			参加企業数(年度内に施設を利用又は、個別相談対応した企業数)	30社	【令和2年度】 54社 【累計】 54社	【令和3年度】 93社 【累計】 147社	-	60社 【累計】	

江別版生涯活躍のまち推進事業 【継続事業：3年目】	交付決定額(円)	実績額(円)	事業KPI	事業開始前(申請時)	重要業績評価指標(KPI) 令和元年度実績値	重要業績評価指標(KPI) 令和2年度実績値	重要業績評価指標(KPI) 令和3年度実績値	重要業績評価指標(KPI) 令和4年度実績値	重要業績評価指標(KPI) 令和5年度実績値	令和5年度目標値	実績値を踏まえた 令和4年度の取組方針について
令和3年度事業内容等(3年目)											
新型コロナウイルス感染症の影響等による施設の竣工遅延により、令和2年度中の居住、入所、雇用に至らなかったため、KPIの実績は全て0人となった。 令和3年度は、令和2年度に構築された仕組みやコーディネーターのノウハウを活用し、施設入居者や施設利用者の増加を図るとともに、イベント等を通じて自治会や地域住民との関わりを持つことで、より地域ににぎわいをもたらすことができた。また、アクティブシニアや障がい者に対して、施設内での就労の機会を確保することで、住む人々が生涯にわたって地域の中で活躍できるまちづくりを展開し、市内全域への波及効果を目指し、事業を実施した。	4,957,000	4,422,691	拠点エリアにおける居住者・入所者数 (サービス付き高齢者向け住宅、介護保険施設、障がい者グループホーム)	0人	0人	0人	227人	-	-	253人 【累計】	令和3年度に実施した交流事業のノウハウを活かし、拠点地域だけではなく、大麻地区でのアクティブシニアの活躍の場の創出や地域活力の向上を目指す。 また、障がい者の自立に向けた環境を整えるため、市内福祉事業所と市内企業を交えた情報交換会や、複数の福祉事業所が集まる「福祉事業所合同説明会」を開催する。
			拠点エリアにおける雇用人数	0人	0人	0人	201人	-	-	185人 【累計】	
			拠点エリアで受け入れたボランティア人数(延べ)	0人	0人	0人	68人	-	-	150人 【累計】	
			健康増進プログラムに参加した人数	0人	0人	0人	76人	-	-	150人 【累計】	

令和3年度 江別市まち・ひと・しごと創生総合戦略事業（地方創生拠点整備交付金）実績一覧

登録有形文化財北海道林木育種場旧庁舎のリノベーションによる企業誘致拠点施設整備事業 【新規事業：単年度事業】 令和3年度事業内容等	交付決定額（円）	実績額（円）	事業KPI	事業開始前 （申請時）	重要業績評価指標 （KPI） 令和3年度実績値	重要業績評価指標 （KPI） 令和4年度実績値	重要業績評価指標 （KPI） 令和5年度実績値	重要業績評価指標 （KPI） 令和6年度実績値	重要業績評価指標 （KPI） 令和7年度実績値	令和7年度 目標値	実績値を踏まえた 令和4年度の取組方針について
北海道林木育種場旧庁舎の外壁等改修工事を行い、使用貸借契約に基づき、株式会社珈房サッポロ珈琲館に引き渡した。 株式会社珈房サッポロ珈琲館による内部の改修工事が行われたが、新型コロナウイルス感染症の影響等による物流の停滞により、必要機材の納品が遅れ、令和3年度中の本社事務所移転に至らなかったため、KPIの実績は0となった。	41,250,000	39,534,000	北海道林木育種場旧庁舎に入居する企業が地元食材などを使用して開発した製品数	0件	0件	—	—	—	—	5件 【累計】	令和4年度から入居する企業による本格的な利活用が始まる。 令和4年度は、建物歴史セミナー、大学生活用セミナー、コワーキングビジネス体験会の3事業を実施し、今後の市民、大学研究者や学生、ノマドワーカーなどの活用につなげる。 また、地元食材などを使用した商品開発、市内大学からのインターンシップの受入れについて、必要に応じて入居する企業と関係先との連絡調整を行い、取組の推進を図る。
			北海道林木育種場旧庁舎に入居する企業で働く従業員数	0人	0人	—	—	—	—	29人 【累計】	
			北海道林木育種場旧庁舎に入居する企業が市内大学からインターンシップ等を受け入れた人数	0人	0人	—	—	—	—	25人 【累計】	